

# 農業者を目指すあなたを応援します

本格的に農業を始めるためには、資金の確保、技術の習得など事前の準備が必要です。

つがる市では、市に移住して就農を目指す方に、研修費用や住居費用の支援、ベテラン農家による実践的な研修など、農業者育成のためのサポートを行っています。

## 新規就農者支援事業

### 対象者

- ① つがる市への移住者で、農業以外の職業から新たに就農しようとする方
- ② つがる市地域おこし協力隊員であった方で、新たに就農しようとする方

### 主な要件

- ① 国が行う農業次世代人材投資事業（準備型） ※の交付金を受ける方

※農業次世代人材投資事業（準備型）とは就農に向けて必要な技術等を習得するための研修を受ける方を支援します（最長2年間）。就農時の年齢が45歳未満であることなど、いくつかの要件があります。

- ② 研修終了後もつがる市で生活し、1年以内に就農できる方

### 期間

最長2年間

### 【金銭面の支援】

- ① 就農準備支援金 … 100,000円（期間中1回限り）
- ② 研修支援金 … 毎月50,000円
- ③ 居住費支援金※ … 賃貸住宅の家賃1/2以内（上限25,000円）

※市の移住者応援事業（家賃補助）と選択可能

- ・子育て夫婦世帯移住応援事業…家賃の1/2以内（上限30,000円。最長5年）
- ・若年夫婦世帯移住応援事業 …家賃の1/2以内（上限15,000円。最長5年）

### 【就農研修】

青森県認定の農業経営士らが構成する「つがる市就農研修生受入協議会」が指導にあたります。就農研修生が作付けを希望する農産物などに応じて、最長2年間の研修スケジュールを計画。市内各地の協議会会員が、各々得意とする分野で研修生を受け入れます。数種類の農産物を生産していく過程で、道具や機械の使い方、育苗から収穫までの作業体系、経営のノウハウなど農業経営全般を学ぶことができます。

### 【新規就農者支援事業の問い合わせ先】 つがる市地域ブランド対策室

電話0173-42-2111（内線426） メール [chiikibrand@city.tsugaru.aomori.jp](mailto:chiikibrand@city.tsugaru.aomori.jp)



## 【支援のポイント】

### Point 1

国の交付金に加え、市の支援金で金銭面をサポート。  
(どちらも償還はなし)

### Point 2

ベテラン農家が得意な分野で指導をすることで、実践的で充実した研修を受けられる。

### Point 3

地域農業のリーダーが集う受入協議会がバックアップすることで、地域に関わりを持ちながら定着が可能。

## 【就農までの流れ】 ※齋藤香織さんの場合

H28 1月 就農を志す

インターネット等で、県内市町村の農業や各種支援制度を見比べる。家族とも相談しながら、就農する地をじっくり選定。

H28 9月 つがる市へはじめての就農相談

つがる市に決めた！

H29 1月 家族3人でつがる市へ移住

国が行う農業次世代人材投資事業の対象者として承認される。

H29 2月 つがる市就農研修生として認定

H29 3月 就農研修開始

農地の取得について

就農に必要な農地は、研修期間に取得します。交渉は自ら行いますが、指導するベテラン農家がアドバイスします。

H31 2月 研修終了予定

就農・経営

開始!



## 指導者にお話を伺いました



つがる市就農研修生受入協議会  
吉田 誠也 会長

## 「地域の担い手」を育成する

昔から農家が多いこの地域では、農家の生活に合わせ、祭りなどの伝統行事が作られてきました。この伝統や地域のコミュニティを絶やさないためには、やはり農家のがんばりが必要。新規就農者を育成することは、「地域の担い手」づくりにつながっていきます。

つがる市の新規就農者支援事業が他と違うのは、地域で暮らし地域の将来に危機感を持つ農業経営士が組織して指導をするところ。そこには商売も利害関係もありません。よく農業は厳しいものだと言われますが、それ以上に、楽しく意義のある仕事です。その喜びを、若い人に伝えていきたいと思っています。

つがる市には、若くて好奇心が旺盛な農家が多い。これから農業を志す人も歓迎します。



### プロフィール 齋藤 香織さん

五所川原市出身。五農高在学中に農業の楽しさに触れる。結婚を機に会社を退職、専業主婦に。家族の影響で農業への思いを募らせ、就農を決意。青森市から夫、今年5歳になる娘との3人でつがる市へ移住。現在「就農研修生」として、日々勉強中です。

## Interview

就農研修生第一号 / 齋藤 香織さん

# 夢の実現をつがる市で

つがる市に移住して新規就農を目指す方を支援する「新規就農者支援事業」(概要は2、3ページ)。その研修生第1号として、昨年3月から就農研修中の齋藤香織さんに、つがる市での生活や就農へかける思いをお聞きしました。

### —現在の暮らし—

トマトの収穫時期を迎え、楽しい作業が続いています。子どものお迎えや家事もあって慌ただしいですが、主人も協力してくれますし、休みも週2日あるので、毎日充実しています。

### —農業を志したきっかけ—

専業主婦の生活に満足しつつも、20年後の自分を考え「やりがい」になることに挑戦したいという思いが

ありました。

その頃、娘の野菜嫌いに悩んでいたんですが、ある日娘が、トマトを「おいしい」と言って食べてくれた。そのことがすごく嬉しくて、その時、自分が作ったものを子どもたちに食べてもらって素敵なことだと思っただけがきっかけです。

また、主人が農業者を支援する仕事をしている関係から、私も農家の方から話を伺ったり、農業に取り組む姿を見る機会がありました。皆さんが誇りを持って生き生きと仕事をしています。とても羨ましく感じたことも理由の一つです。

### —つがる市を選んだ理由—

主人に相談し、県内市町村の農業や新規就農者に対する支援制度、トマトづくりに適した地域であること

などを比べてみたら、ここが一番いい条件でした。子育て世帯や移住者に対する市の支援が充実しているのもよかったです。暮らしてみても、子どもと外に出ると気さくに声をかけてくれますし、皆さんの人柄がよくて過ごしやすいいところだと感じています。過剰に介入してくる人もいないので、自然な感じで地域に馴染めました。

### —農業の魅力

やっぱり子どもに安全で安心な物を食べさせてやれることが一番の魅力。畑の畝づくりからやったものに、実がついて色づいて…と、成長していく姿を見るのも楽しいです。



トマトの交配作業。こういう地道な作業の大変さ、大切さを学んだと言います

### —農業は大変だと感じる？

実際にやってみて、確かにキツイと感じるときはあります。特に感じるののは、トマトで言えば定植前の土づくりや畝づくりなど、消費者にはあまり見えない作業。やらないとわからない大変さがあって、同時にとても大切な作業だと感じています。はじめは、想像よりも大変だと感じましたが、それよりもやりがいの方が強いですね。

### —受入協議会の指導について

まず、とにかく皆さん良い人！きちんと教えてくれるし、自分からがんばろうと思えるように導いてくれます。厳しいと感じたことは無いです。指導内容としては、10カ所以上の畑を回って作業するので、作物による工程の違いなども教わる事が出来て、とても勉強になります。はじめは、指示されたことを体で覚えるのがやっとでしたが、1年やってみて、作業の意味を考えると、なるほど、わからなければ積極的に聞くようになりました。次に必要なことも予測しながら動けるようになりましたね。

### —独立することへの不安は？

トマト一連の作業を学んだので、作業自体は心配していません。ただ、自分の農地でやるとなると、土も違うしハウスも違う。その新しい環境に対応して、一から自分でやれるかという不安はあります。

そして今一番の不安は、まだ自分の農地が見つかっていないこと。条件が合うところは空いていないし、移住してきたので土地を頼れる親戚などありません。このことは、これからの研修生も同じ悩みを抱えると思うので、この不安を解消できればもったいない事業になると思います。そして皆さん、いいところがあったらぜひ教えてください！



この日は就農研修生受入協議会の吉田誠也会長が指導。職場の雰囲気は最高

### —今後の目標、夢

まずは、いい野菜をしっかりと作れるようになること。そして少しずつ経営規模を大きくしていきたい。いずれば加工品の開発にも取り組んで、地域農業の活性化と地域の雇用創出にも貢献することが目標です。

ちょっと固い言い方でしたが、地域の人とふれあって、楽しい農業を続けていけるようになるのが私の夢です。

## 農地を探しています

齋藤香織さんは、就農に必要な農地を探しています。希望する条件は、次のとおりです。

- ・イオンモールつがる柏付近から、車で約30分の範囲内
- ・トマト栽培に適した水はけのいい土地

貸してもいい・譲ってもいいという方、情報を持っている方は、下記までご連絡をよろしくお願ひします。

就農研修生受入協議会事務局（地域ブランド対策室内）  
電話42-2111（内線426）